

2023 Lusco Albariño Pazos de Lusco D.O. Rias Baixas

ルスコ アルバリーニョ / パソス デ ルスコ

アルバニーリョへの情熱とこだわりから生まれるバリュウワイン

白ワインの名産地として知られるスペイン北西部リアス・バイシャス。年間平均降水量 1600 ミリと、スペインで最も雨の多い地域の 1 つですが、地盤が主に花崗岩で出来ているため水はけが良く、冬は寒く夏は涼しい海洋性気候に属しますが、気温は比較的穏やかです。この土地で栽培されるブドウ品種の 96% を占めるガリシアの土着品種アルバリーニョは、スペインで最も注目されている土着品種の 1 つで、爽やかでいて熟した果実味が凝縮し、イチジクや柑橘系のアロマが華やかな白ワインを生み出します。



ポルトガル国境から内陸部へ 2 キロ程行ったコンダード・デ・テアにボデガを構えるパソス・デ・ルスコは、リアス・バイシャスで最も高く評価されているワイナリーの 1 つです。多雨多湿のこの土地に伝統的なベルゴラ方式(棚栽培)でアルバリーニョを栽培しています。オーナーのホセ・アントニオ・ロペスは、20 年以上にわたってアルバニーリョの発展に大きく貢献した人物で、ただ熟成が効くというだけではなく、熟成を重ねるにつれてアルバリーニョが持つ品種の持ち味とストラクチャーがその本領を発揮してゆく上質な白ワインを造るという自身の理想を実現するため、1995 年にパソス・デ・ルスコを設立しました。以来、ブドウが熟すまで待つから行う遅めの収穫、天然酵母による自然発酵、澱と共にゆっくりと長い時間をかけて行う熟成など、上質な辛口白ワインを造るため、この地に伝わる伝統的な手法を守り抜いてきました。



ルスコ・アルバリーニョは、生き生きとした快活な酸と豊かなミネラルに溢れ、熟した果実味とのバランスも絶妙です。ワインアドヴォケート誌を始めとする数々のワイン誌で不動の高評価を得ています。

ルスコは、ガリシアの方言で「夕日」を意味し、ラベルには海に沈む美しい夕日が描かれています。

■**ヴィンテージ情報**■ この年の生育期は大雨が続き、べト病が発生しやすい条件が揃った結果、DO 全体、特にコンダード・デ・テアのサブゾーンにその被害が及びました。生産者ごとに被害の規模に違いがみられましたが、我々のワイナリーでは、この年の収量はまずまずで、クオリティの高いブドウが収穫できました。2023 年のワインは、酸とアルコールのバランスが良い、凝縮感とフィネスを備えた味わいの特徴としています。

■**テクニカル情報**■ 産地:スペイン大西洋地方/ガリシア州/D.O.リアス・バイシャス/コンダード・デ・テア
品種:アルバリーニョ 100% 平均樹齢:25 年 アルコール:12.5% 残糖量:1.5g/L pH:3.6 畑面積:5ha
畑:南東向きの段々畑 標高:海拔 250m 土壌:砂、石灰岩、花崗岩が混じる 栽培:除草剤等を使用しないサステナブル農法を実施。ベルゴラ(棚仕立て)を採用。収量を抑えることで質の高い、凝縮感のあるブドウが出来ます。醸造:手摘みで収穫。上質なブドウのみ厳選。低温マゼレーションを行い、自然酵母で発酵。澱とともに寝かせることで長い余韻を伴うコクのある味わいに仕上がります。

■**相性料理**■ タパスや焼いた魚、パスタ、パエリアと抜群の相性。10~11℃に冷やしてサーブして下さい。

■**コメント**■ 麦わら色を帯びたクリアで輝きのあるイエロー。新鮮なリンゴや柑橘類を思わせる濃厚かつ洗練されたアロマが主体。絶妙な酸を伴う非常に円やかな味わいに力強さとフレッシュ感が広がる。調和のとれたエレガントなスタイル。

★**ジェームス・サックリング 90 点**:リアス・バイシャスの特徴が表現されたワイン。白桃や白色のアプリコットの豊かなアロマに淡い色の花や貝殻、チョークのニュアンスが香る。エレガントなミディアムボディの味わいは塩気があり、繊細で、ストレートな後味を生む。今が飲み頃。《2024/6/5 掲載》



【EVU ヴィーガン認証マーク】

上代価格 ¥3,800(税別)

JAN コード:4543190305815

